

下村為山—子規派の画人

明治から昭和にかけて活躍した画家、下村為山は慶応元（一八六五）年に松山で生まれました。はじめ西洋画をこころぎした為山は、東京で小山正太郎の画塾「不同舎」に学びます。このとき同門に、生涯のライバルとなる中村不折がいました。

子規と知り合い影響を受けた為山は、洋画から日本画に転向し、旧来の俳画とことなる独特の表現で、俳句の趣向を展開しました。為山の絵は、きびしく洗練された構図、墨の濃淡、絵具の色遣いなど、新しい工夫の上に成り立ったものでした。

明治三十年に松山で発刊された子規派の俳誌「ほととぎす」の創刊号で、為山は表紙の題字を手かけます。以降、為山は同誌や俳書『新俳句』に挿絵などを描き、子規派の画人として知られてゆきます。

為山と不折はともに「ホトトギス」誌上で表紙や挿絵、口ゴなどの選をおこない、ここに数々のすぐれたデザインが集まりました。また為山は子規派俳人の句集などの装丁を手掛け、すぐれた意匠で文芸に貢献します。なお、六朝体に学んだ為山の書風は、画賛や書物の装丁において輝きを放っています。

今回の新春特別展では、本年が下村為山の生誕一五〇周年であることを記念し、子規派の画人、下村為山の書画作品を展示し、郷土が生んだこの大才の画業などを紹介します。



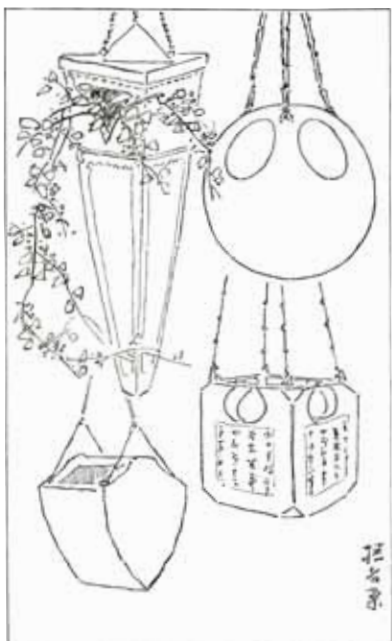
「釣釣」



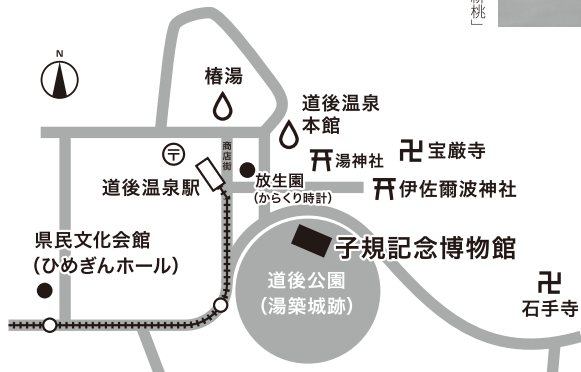
「緋桃」



「産図」



「ホトトギス」第五巻第二号 募集図案「釣花瓶」



道後温泉駅より徒歩約5分／道後公園駅より徒歩約5分
*公共の交通機関をなるべくご利用ください

松山市立子規記念博物館

TEL 089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園 1-30
施設運営・管理／株式会社レスパスコポレーション
<http://sikihaku.lesp.co.jp/>

観覧料

個人 200円 団体 160円 65歳以上 100円 小中高校生 無料
特典／常設展とセットで特別展の観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は2割引・子規博友の会会員が特別展の観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は2割引

学芸員によるギャラリートーク

展示室において、担当学芸員が特別展の内容を解説します。
平成27年1月10日（土）・1月24日（土）
※ともに午前10時30分から50分程度
※聴講無料。ただし特別展の観覧券が必要。